

【第 69 回セミナー受講者からの感想・ご意見】

2023 年 11 月 9 日（木）15:10～18:10
富山国際会議場 3 階 第 1 会場「メインホール」

■ 感想

- 大変勉強になりました。
- 貴重な講演ありがとうございました。
- 選択肢を提示する形も面白いかと思いました。
- 演者も素晴らしいですね。大変勉強になりました。
- 毎回勉強になります。今後は積極的に参加したいと思います。
- 周術期抗菌薬についての内容を詳しく取り上げてほしいです。
- 全ての先生方の御講演、大変勉強になりました。有難うございました。
- 自分の不得意な外科的事例が取り上げられており、参考になりました。
- CLAP 療法は当館でもやっていますので、大変身の引き締まる思いでした。
- 教育セミナーは大変わかりやすく、明日からの実践に生かせると思いました。
- 実症例を用いた検討は各先生方の着眼点や方針をきくことができ、とても勉強になりました。
- スペシャリストによる専門的な内容を含め基本を教えてくださいました。ありがとうございました。
- 抗菌薬治療の終了について、AST の薬剤師として介入目標としていますが、なかなか難儀しています。
- 整形分野については抗菌薬治療が長くなることもあり、関わることも多いです。治療の内容が教科書どおりでないことを勉強できて参考になりました。
- 当院でも整形外科がメインで CLAP 療法を何例か経験しており、今回の症例検討で更に勉強しなければいけないことがあるなど感じました。
- β-ラクタムをはずすと SSI は確実にあがることは知っておくべき、という大毛先生のコメントが印象的でした。患者さんのアレルギー症状をいつも聴取しており、どこまでアレルギーとして登録するべきか悩みます。
- 長尾先生のお話はとても良かったです。メッセージ性がとても高かったです。事例に関してはとても勉強になり、笠原先生の最後のまとめがすばらしかったです。
- 周術期や小児に関する感染は身近に症例がないため、非常に勉強になりました。感染症の自然経過については今後も注意深く見ていこうと思いました。経口抗菌薬へのスイッチについて悩むことが多いので、使い分けを教えてもらえると助かります。
- 本セミナーでは薬剤師の受講が多いと聞かれます。おそらく AST 活動に従事している方も多いと思います（自分も含めて）。AST 活動で役立つ様な内容（薬剤師として）を今後も取り上げていただけると有難いです。
- 院内においても、とりあえずはメロペネムを使用という風潮がつよく、その後、検査結果や培養結果が判明後、De-escalation していただくケースが多いです。講演にもありましたがメロペネムを使用しなければ、いけないケースはあると思いますが、数日（3,4 日）メロペネムを使用しても、その後、速やかに De-escalation していただければ、耐性菌などの観点では問題がないのでしょうか。

それとも、状態をみてメロペネム以外の Abx を初めから選択する方が良いのでしょうか。

■ 要望

- 適正使用セミナーの発表で紹介してくださる症例で、抗菌薬の名前のみであることが多いので薬剤師としては投与量、投与期間を併せて紹介して欲しいと思います。人工関節置換術の動画を最初に見せてくださったのでわかり易かったです。